

中 岳



“笑顔をみがこう” 2007歯の祭典
夏だ! ビールだ! 懇親ビアパーティー



目 次

巻頭言	稲葉 逸郎 常務理事	1
2007歯の祭典.....		2
よい歯のピエロショー.....		5
平成19年度 歯の衛生週間 上通イベント来場者数.....		6
社保説明会.....		11
G C スタッフセミナー.....		12
第1回熊本市歯科医師会学術講演会.....		14
日本歯科医療管理学会春季セミナー.....		16
第48回日本歯科医療管理学会報告.....		18
平成19年度学校保健理事会.....		21
第28回熊本市学校保健会総会・合同研修会.....		22
学校保健功労者表彰を受けて.....		24
吉良直衛先生春の叙勲受章.....		25
スタディ.....		26
ビアパーティー.....		28
新入会員紹介.....		30
スポーツの広場.....		32
会務報告.....		33
編集後記		

表紙のことば:

ビアパーティーにて

7月7日(土)恒例のビアパーティーがホテルニューオータニ熊本で行われました。

今年は2007HULA NIGHT と題して、美女6名のフラダンスを堪能しました。曲ごとに衣装やレイが変わり見ごたえ充分(もちろんダンスも)終盤にはビンゴ大会で肉、ワインあるいはインスタント麺などをゲットして、七夕の夜のひと時を楽しく過ごしました。

(T.F)

巻 頭 言

社保関係情報の迅速化 各支部に社保担当者を!!



稲葉 逸郎 常務理事

古賀会長のもと常務理事を拝命し約1年間社保担当理事を兼任してまいりました、今年度から渡辺洋先生に社保の理事をお願いして庶務担当の常務として会務にあたっております。

巻頭言を書くにあたり、まず7月29日の参議院選挙の結果が出ないことには始まりませんでした。年金問題、大臣の不適切な発言、など自民党逆風の中マスコミの予想通り自民党過半数割れの大変な選挙になりました。ご存知と思いますが、そのような中で我々歯科医師連盟推薦の石井みどり氏が22万8165票を獲得し自民党比例代表選において8位の高位で初当選を果たされました。熊本県の得票数も4159票、熊本市も1157票と前回よりかなり多くの票を獲得することが出来、諸先生方、家族及びスタッフの皆様の協力と、一票一票の積み重ねの結果だと感謝しております。この様な逆風の中での出発はまさしく歯科界の現状と同じです。我々歯科医師の代表として、石井みどり先生の国政での活躍を祈りたいと思います。

社保関係でも、5月と7月に緊急の社保説明会を開かせていただきましたが、合同審査会及びレセプト請求における現在の注意点、個別指導、厚労省の共同指導など会員の先生方へ、直接、早急に、説明し理解していただきたい事が色々出てまいります。連絡はFネコを利用し、その日のうちに出来るようになりました。

熊本市の会員の数も343人となり、市内12支部の中には、35人、40人を超える支部もあります。これは、他の郡市の会員数より多い人数の場合があります。各支部長のもとに、社保の担当があった方がいいのではないかと考え、今回支部長に社保担当者を推薦していただきました。12支部に1人ずつの社保担当者を置き、社保関係の情報の迅速化を計りたいと考えています。各支部での活動が活発化され、若い先生の積極的な歯科医師会への参加と、保険の質問や請求の疑問点及び、返戻、査定への対処の仕方、個別指導への不安など多くの問題へ対応できる体制をとる事ができると期待しております。今までより国民（保険者）の見る目がきびしくなっていくこれから、むかしはこれでよかったとか、説明は聞いていないとかで、自分勝手な解釈で請求したりしない様に、浦島太郎状態にならないように、最新の情報に関心を持っていたきたいと思います。将来的に会員ひとりひとりが社保委員という気持ちで保険診療に精通し、自信を持った日常の診療が行えるよう、会として協力していきたいと思います。



笑顔 2007

平成19年度

通町（電車通り）



スタンフラリー受付

歯の何でも相談

矯正相談

小児歯科相談

6月10日（日）恒例の「2007歯の祭典」が上通りアーケードにて今年も開催された。テーマは、“笑顔をみがこう”である。

本イベントは、熊本市歯科医師会主催、熊本県歯科衛生士会熊本市支部ならびに熊本市歯科技工士の共催によって行われるものである。

目的は、歯科疾患の早期発見・早期治療、予防処置の励行を徹底することにより歯の寿命を延ばし、市民の口腔の健康保持増進の啓発に寄与することにある。

オープニングセレモニーに先立ち、びぶれす広場にて胡弓とバイオリンによる演奏が行われ、その爽やかで美しい音色に、道行く人々はしばしの間足を止め、聞き入っていた。

古賀 明会長の主催者挨拶に続き、熊本市長代理・谷口博道熊本市健康福祉局長、牛島 弘熊本市議会議長らによる来賓挨拶があり、来賓者全員によるテープカット後、イベントが開催された。

みがこう 歯の祭典

歯の衛生週間

歯
科
技
工
士
会

口
臭
測
定

歯
科
衛
生
士
会

口
腔
介
護
コ
ー
ナ
ー

歯
科
衛
生
士
専
門
学
院

8
0
2
0
推
進
員
コ
ー
ナ
ー

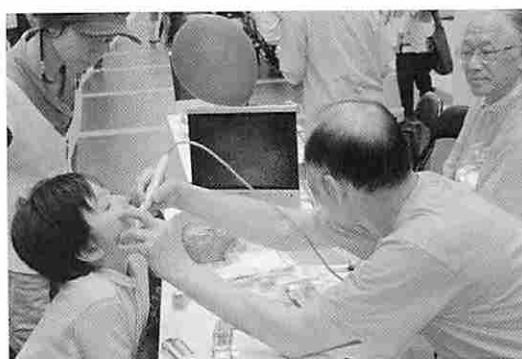
総
合
受
付



実施内容は、例年通り、矯正相談、歯の何でも相談（口腔外科相談併設）、歯科衛生士会、小児歯科、口臭測定、技工士会、口腔介護、8020推進、熊本歯科衛生士専門学院紹介などのコーナーによって構成された。各コーナーにおいて、工夫を凝らした普及活動がなされ、多くの来場者が相談を受け、熱心に展示模型やパネルに見入っていた。また、来場者のなかには、本イベントを毎年楽しみにしているとの声も多く訊かれるようになり、本イベントが熊本市の一大行事として確実に根づいてきていることを実感した。

今年も、多くの来場者があり盛況であった。今後も、本イベントを継続していくことによって、熊本市民の歯と口の健康維持増進に大きく貢献しうものと考えている。

（公衆衛生 二宮康郎）





よい歯のピエロショー



6月2日(土)、この時期では恒例の『よい歯のピエロショー』が、熊本市子ども文化会館にて開催されました。このショーは午前と午後の2回行われ、今年も多数の参加者がありました。これと同時に熊本市歯科医師会公衆衛生委員7名による無料歯科相談を実施しました。このイベントは熊本市が主催するもので、我々委員が協力するという形をとっています。また、無料歯科相談にあわせて各保健福祉センターの歯科衛生士の方々が位相差顕微鏡を用いて口腔内細菌を見せてあげたり、ブラッシング指導、フッ素塗布を行ったりと、盛りだくさんの内容で、8020推進員の方々にも参加、協力いただき受付などのお手伝いをさせていただきました。その結果、今年度は雨天にもかかわらず、184

名の相談者がありました。

昨年同様子供づれのご家族はご両親も合わせての相談がほとんどで、相談を嫌がる子どもたちの見本となってお父さんが健診をしてもらい、続いて子どもさんが健診を受ける様子は大変ほほえましいものがありました。

ご来場の方々は、歯に対する関心は高いものの、歯を長持ちさせるための個人的で具体的な方策は身につけておらず、我々歯科医療従事者の更なる活動により、多くの方々のお口の周りの悩みの解決につながることを実感しました。今後ともより充実した内容で、多くの市民のお口の周りの健康増進に役立っていきたいと思います。



(公衆衛生 川口 孝)

平成19年度 歯の衛生週間 上通イベント来場者数

	コ ー ナ ー 名	来 場 者
1	スタンプラリー参加者	450名
	アンケート協力者	699名
2	歯の何でも相談コーナー（口腔外科相談コーナー含）	79名
3	矯正相談コーナー	37名
4	小児歯科コーナー	99名
5	歯科衛生士会コーナー	264名
6	口腔介護コーナー	29名
7	口臭検知器コーナー	135名
8	歯科技工士会コーナー	（石膏人形配布）460名
9	熊本歯科衛生士専門学院コーナー	42名
10	8020コーナー	（アンケート協力者）269名

1. スタンプラリー参加者 450名

アンケート協力者 699名

今年はアンケートを書いてもらう事により歯科に対する啓発を促すようにしました。

スタンプラリーは、子どもを中心にを行いました。

2. 歯の何でも相談コーナー 79名

（口腔外科コーナー含む）

相談内容	年齢	年 齢 別 内 訳								
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1. 歯周疾患					2	4	3	2		11
2. 色調異常		1			1	2		1		5
3. 歯列咬合										0
4. 顎関節症					1	1	1			3
5. 義歯					1	1	2	4		8
6. 矯正	7	3				1				11
7. 智歯			1				1			2
8. 口臭										0
9. ブラッシング指導								1		1
10. 拔牙								1		1
11. むし歯	1		2		1	1		2		7
12. 補綴物				1	1	3	4		1	10
13. インプラント							1	3		4
14. キシリトール										0
15. その他		1	2	1	2	3	3	3	1	16
合 計	8	5	5	2	9	16	15	17	2	79

その他は口腔粘膜、舌疾患が多数ありました。

3. 矯正相談コーナー 37名

相談内容 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1. 上顎前突	2	1								3
2. 叢生	8	8	2	1				1		20
3. 下顎前突	2									2
4. 開咬										0
5. 交叉咬合										0
6. その他	5	2	1	2	1		1			12
合 計	17	11	3	3	1	0	1	1	0	37

昨年（28名）に比べ増加しています。

10歳前後の年齢層が多く、治療の開始時期や費用についての質問が多かったようです。

4. 小児歯科コーナー 99名

相談内容 \ 年齢	1歳未満	1歳～2歳	2歳～3歳	3歳～4歳	4歳～5歳	5歳～6歳	6歳～7歳	7歳～8歳	8歳～9歳	9歳～10歳	10歳以上	合計
1. う蝕		1	1	8	6	2	1		1	1	2	23
2. フッ素	1											1
3. 萌出時期					1							1
4. 歯列咬合	1	1			2	6	4	7	2	5	20	48
5. 悪習慣												0
6. 色調異常										2		2
7. 歯磨き方法		7		4		1	1	1			2	16
8. その他			1		1				2		1	5
9. 不明		1						1		1		3
合 計	2	10	2	12	10	9	6	9	5	9	25	99

※その他（健診）・不明（本人以外の相談）

5. 歯科衛生士会コーナー 264名

指導内容 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
1. 位相差顕微鏡	18	12	6	1	1	6	2	3	1	50
2. 唾液PHテスト	7	10	14	6	7	15	6	8	1	74
3. 相談・指導	43	22	12	30	15	7	8	2	1	140
合 計	68	44	32	37	23	28	16	13	3	264

※その他（インプラント、シーラント、唾液）

性別 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
1. 男性	36	22	12	14	10	6	5	5	2	112
2. 女性	32	22	20	23	13	22	11	8	1	152
合 計	68	44	32	37	23	28	16	13	3	264

6. 口腔介護コーナー 29名

指導内容 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不 明	合計
1. 相談・指導等	0	1	6	3	6	7	2	4	0	29
合 計	0	1	6	3	6	7	2	4	0	29

性別 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不 明	合計
1. 男性	0	0	1	2	1	0	0	2	0	6
2. 女性	0	1	5	1	5	7	2	2	0	23
合 計	0	1	6	3	6	7	2	4	0	29

7. 口臭検知器コーナー 135名

検査に来られた半数以上が、50代・60代・70代の方であった。

相談内容も、ご家族の方から、口臭を指摘され気になるので検査してほしいというものが多かった。いずれの方も、朝起床時の口臭と空腹時の口臭が家族から指摘されたケースが多かったように思われます。

ヨシダのプレストロン（硫化水素とメチルメルカプタンを検知する機械）で検査を行っていましたが250ppbをこえる検査結果は2例ほどで、ほとんどの方が気にされるほどはないように思います。

去年、口臭検査をこのイベントで調べてもらったので、今年も調べて下さいというリピーターの方も何人かおられました。

8. 歯科技工士会コーナー 460名 石膏模型配布（460名分）

相談者13名（金属の種類、義歯、インプラント等）

- ・補綴物の適合性について
- ・料金について
- ・インプラントについて

9. 熊本歯科衛生士専門学校コーナー 42名

- ・歯科衛生士についての質問
- ・歯科衛生士専門学校について（受験、学校の内容、教育課程）

10. 8020コーナー

来場者数：269（アンケート協力者数）

アンケート集計結果（回収：269通）

【性別】

性 別	
男	61
女	126
不 明	82
計	269

【居住地】

居 住 地	
市 内	156
市 外	46
不 明	67
計	269

① 自分の口に満足していますか。

はい	158
いいえ	101
不明	10
計	269

② 口の状況（複数回答）

① むし歯がある	② 歯周病がある	③ 不快感がある	④ 動揺する歯がある	⑤ 口臭がある	⑥ 歯並びが悪い	⑦ 歯を白くしたい	⑧ 食事の時に不自由・不快感がある	不明
84	26	29	17	34	44	87	33	57

③ 知っていること（複数回答）

① むし歯・歯周病は生活習慣病	② 糖尿病など生活習慣病と関連がある	③ 喫煙は歯周病の原因	④ 歯周病と低体重児の出生は関係がある	⑤ 歯周病と全身の健康の関係は深い	⑥ フッ化物はむし歯予防に有効だ	⑦ 生活習慣や食習慣でむし歯予防できる	不明
154	97	105	54	124	184	148	38

④ いつでも相談できる歯科医院はありますか。

有	202
無	54
不 明	13
計	269

⑤ 今日のイベントの感想はいかがでしたか（複数回答）

① 関心が高まった	② 口の健康に関する相談ができ、よかった	③ スタッフに相談でき、よかった	④ 情報が欲しい	⑤ 来年も開催して欲しい	⑥ スタンパラーを開催して欲しい	不明
168	58	24	41	134	124	34

⑥ 8020推進員を知っていますか。

は い	98
いいえ	142
不 明	29
計	269

⑦ 8020推進員の活動に興味はありますか。

は い	147
いいえ	93
不 明	29
計	269

⑧ 8020推進員に応募してみたいと思いますか。

は い	36
いいえ	187
不 明	46
計	269

⑨ その他、ご意見、ご感想などあればお書きください。

- ・大変良い勉強になりました。
- ・歯が健康のもとと思い大事にしています。
- ・歯は大切にしたいと思います。
- ・楽しかったです。
- ・歯科医の方に、詳しく説明して欲しい。
- ・たくさんの市民の方々に口の興味を高めていただければ良いと思います。
- ・歯とは一生つきあうぞ!!
- ・歯について自分がいかに無知かを知りました。
- ・歯の大切さがわかった。
- ・口内炎のことを相談します。
- ・興味が出ました。
- ・色々、意見有難うございました。
- ・80歳まで20本保つように頑張りたいと思いました。
- ・歯は本当に大事だと思います。きちんとお手入れしたいと思います。
- ・身体の健康は歯の健康からだと思うので今から用心したいと思います。
- ・歯の健康に関するイベントがあるのは、とてもありがたく素晴らしいと思います。
- ・子どものことで相談できてよかったです。
- ・将来、歯科衛生士を目指しているので参加させていただきました。楽しかったです。
- ・初めて知りました。大変良いと思います。

誤りやすい算定の解説など

— 社保説明会 —



7月19日（木）午後8時より、歯科医師会館4階大会議室において、社保説明会が行われました。指導医療官交代後初の個別指導が始まった事もある、前回あわただしかった緊急説明会の補足という形の社保説明会となりました。

当日は、古賀会長の挨拶の後、まず初めに勇励県歯会社保担当理事より個別指導対象者の選定基準についてのお話がありました。続いて、上田忠県歯会副会長、中嶋敬介県歯会常務理事より、誤りやすい算定についての解説及び解釈に多少の変更点があった部分についての説明等

が行われました。診療に直結する内容とあって、平日の夜という時間にもかかわらず集まった300人近い参加者は、最後まで熱心に聞き入っていました。

この後、吉田公典県歯会副会長より、次期参議院選挙のお話があったあと、藤波副会長の閉会の挨拶をもって今回の社保説明会は終了しました。

（社保 井口泰治）

歯科衛生士の技術向上を

GCスタッフセミナー

6月9日、GCスタッフ研修セミナーが熊本歯科衛生士学院5階にて開催されました。初めに、熊本市歯科医師会古賀明会長より開催のご挨拶がありました。続いて㈱GC九州営業所より歯科衛生士の新飼恵未、古谷幸子両講師の紹介があり、受講生32名が2班に分かれて講義と実習が行われました。内容は、材料実習①セメント、材料実習②アルジネート印象材・石膏、そしてブラッシングセミナーで以下の日程で進みました。

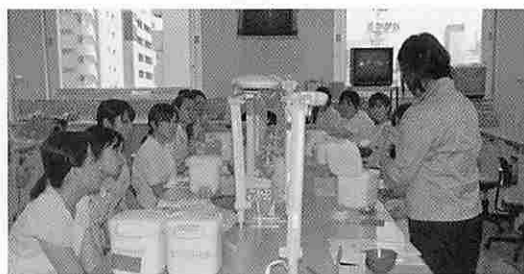
- 14:30~15:20 材料実習①
- 15:20~16:10 材料実習②
- 16:10~16:30 片付け、休憩
- 16:30~17:20 ブラッシングセミナー
- 17:20~17:30 質疑応答、製品紹介



材料実習①では、リン酸亜鉛セメントの練和の手順について、JIS法での説明がありました。「粉末の計量、液の滴下と粉末の分割、練和（粉を6分割して、1分30秒で練和）、練和完了。標準の硬さは、スパチュラの先にすくいとり、2秒で垂れ落ちる程度とする。さらに使用したスパチュラは、すぐに水につけておくようにすること。」

久しぶりに説明を聞くとし新鮮でした。他の材料では、ガラスアイオノマーセメント、光硬化型セメント、光硬化型コンポジットレジンについて説明がありました。

材料実習②では、アルジネート印象材による印象採得と石膏模型作製の手順で行われました。「トレーの選択、試適、粉末の計量、水の計量、



練和、混水比の注意、トレーへの盛り付け、歯牙への塗布、トレーの圧接、印象の清掃、続けて、石膏の計量、練和、脱泡、石膏注入、トレーからの撤去、トレーの清掃。」

石膏を流す際パイプレーターの強さが強すぎる為、模型に気泡が入ったり、流れてしまったり、トレーに石膏を盛る時多過ぎて模型が外れなかった受講者が思いのほか多かったような気が。しかし、失敗することにより勉強して成長してくれることでしょう。

材料実習後、ブラッシングの講義が行われました。「ブラッシングの最大の目的は健康な歯肉、口腔の獲得です。その方法として①毛先磨きが大切で、毛先で落とす。②毛先を直角に当てる。刷面を使い分ける。歯面を分けて考える。③歯ブラシは、歯面に軽く当てる。」力の入れすぎは、竹ぼうきに例えて、力を入れすぎると先が広がり狙った所に当たらないこと。また持ち方は自由で決して患者の歯ブラシの持ち方を否定しないことが大切です。なるほど。自院の歯ブラシの説明にも使わせていただきます。次に鉛筆を使った歯ブラシ実習について説明がありました。

【鉛筆実習】

1. ブラッシングの正しい力加減を「Bの鉛筆」を使って体得
2. 歯面をぬらす
3. Bの鉛筆で歯面に印を書く
4. 2~3往復で汚れを歯ブラシで落とす
・正しい力加減（50~100g）だと、2~3

往復で落ちる

- ・力が強すぎたり、歯面に毛先が当たっていないと汚れを落とす事はできない
- ・「歯ブラシの向き」、「当て方」、「力加減」なども自分自身の工夫が必要となる

5. 鉛筆の汚れが落とせたら、赤染めしたプラークも同じように落とせる

【鉛筆実習のメリット】

赤染めしたプラークは一度落としてしまうと見ることができない

- ・鉛筆は何度でもできる
- ・手軽にできる
- ・短時間でできる

(注) 鉛筆を口腔内で使用しても害はないとのことですので安心してお使いください
(鉛筆メーカーに確認済みです)



【実習手順】

- ①中央に「点」
- ②中央に「縦線」
- ③中央に「横線」
- ④歯頸部に沿って「線」

【歯ブラシの選択】

どの歯ブラシが歯をきれいにするか？より、歯ブラシをどのように使うかが大切です。

使いこなしやすい歯ブラシは……

- ・毛先の加工がされているもの
- ・ヘッドの大きさはコンパクトで小回りがきくもの
- ・ネック・ハンドル部はストレートでスリムなもの
- ・刷面は平らなもの
- ・毛の硬さはM(普通)、S(ソフト)、U(ウルトラソフト)

【歯ブラシの消毒】

耐熱温度

100℃⇒煮沸消毒 100℃未満⇒薬液消毒

【指導法】

①2度染め方法

磨く→染め出す→チェック→磨く→染め出す→チェック→磨く

＜メリット＞

担当者が変わっても対応できる

予後の経過が観察できる

②チャート記録方式

医院内で統一したチャート用紙を用意し、記入していく

＜メリット＞

担当者が変わっても対応できる

予後の経過が観察できる

③ワンポイントレッスン方式

指導をする部分を狭い範囲に限定して行う方式
全体を見ていくと磨き落とすことだけに集中してしまい本当に伝えたいことが伝わらない

＜メリット＞

1. 一箇所への指導の為、短時間で簡単にできる
2. 「一箇所だけなら…」とよくやってくれる
3. 他の部分への波及効果も期待できる



ポイントを選ぶコツは？

- ①患者さんが気にしている部分
- ②歯肉の変化(出血・発赤)がみられやすく、分かりやすい部分
- ③手鏡で確認しやすい部分(前歯部→臼歯部)

歯科医院において患者様との意思の疎通を図る上でもスタッフは大切な役割を担っています。予防が取り沙汰されている今日、患者様に安心して来院してもらうためにも更なる知識と技術の向上が求められます。勉強会は受講生にとって有意義な時間になったと思いますので、多くの受講生の参加を願い、来年もぜひ開催したいと思います。

(医療管理 岡本 勝)

トラブルなく矯正治療をするにあたってのノウハウについて

第1回熊本市歯科医師会学術講演会

8月18日熊本県歯科医師会館市歯会議室において熊本市歯科医師会第1回学術講演会が開催されました。お盆休み明けの暑い土曜日の午後、多数の会員の参加がありました。

合沢副会長よりの挨拶を皮切りに八代市で矯正専門医として開業する犬童寛治講師による講演が始まりました。

矯正治療のトラブルとして、医療事故はまれであり、ほとんどが医療訴訟であることが特徴で、その事例と、対処法についての講演となりました。

一旦医療訴訟が起こり、患者と歯科医の意見の食い違いが明らかとなり、お互いの主張が水掛け論になった場合は、法的に医療側の説明義務違反が問われる場合が多く、医療側は弱い立場にあり、インフォームドコンセントが重要であるとのことでした。

講師の医院では自院内でのトラブルはほとんど無いそうで、まれに見られるトラブルは、他院からの転院症例においてみられるとのことでした。その原因として目に付くのは、①外科ケースなのに非外科の説明で治療してある転院ケース、つまり、講師が転医してきた患者を最初に診断したときに、外科を伴う矯正治療でなければ理想的なゴールに到達しないと判断したにもかかわらず、前医において治療には外科処置を要しないとの説明を受けていた場合や、②非抜



歯で対応できないケース、同じく前医で拔牙をしなくても治療が可能であるとの説明を受けていたにもかかわらず、理想的に治すには拔牙を



要すると判断されるケース③ブラケットポジションが悪いケース等があるそうである。①や②で言えることは残念ながら前医においてきちんとした診断による治療方法とゴールについての説明がなされていなかったことに起因するもので、③についてはブラケットポジションというのは矯正治療の要となるもので、各歯牙のどの位置に、どんな角度でポジショニングするかということであるが、極論するとこれさえきちんと行っていればストレートなワイヤーを入れるだけで歯は歯列内で理想的な関係に並ぶわけだし、逆にこれがきちんと行われていなければ歯をまっすぐに並べるのは至難の業になる。矯正治療においては大変重要な基本的テクニックであり、これがうまくいっていないということは前医の技術に問題があったと判断せざるを得ません。

このようなトラブルを回避するには、治療技術の向上はもとより、初診時に規格化されたレントゲン写真、規格化された口腔内写真、規格化された顔貌写真など十分な基礎資料を採得し、それを元に正確な分析から診断を導き、治療計画の立案、さらにそれを患者さんと一緒に見ながら十分な説明と同意を得ることが大事である。このとき患者と歯科医が同じレベルで問題点を把握し、治療法を理解し、ゴールを共有することが最も重要である。また、治療開始にあたり

作成した資料をもとに、予想される治療結果を充分説明した上で同意書を交わす様にするべきである。また、永い治療期間、患者が最初のモチベーションを維持できるようになるべく頻回治療中の資料を患者に見せつつ、治療の進行状況を理解していただく事が大切である。

治療終了時には、初診から終了までの資料を基に治療開始時に立てた計画と終了時の治療結果を見比べ矯正治療終了の同意を得る。また今後の治療結果の維持のために必要な説明や将来の歯牙の移動が起こる可能性についての説明を行い、場合によっては再治療が必要になる可能性もあることとその場合自院ではどう対処するかについての説明とアフタフォローについての説明を行う必要がある。

次に、矯正治療を手がけるにおいて困難な症例と手をつけやすい症例について解説して貰った。困難な症例は

- ①成長の予測がつかないケース 成長期は要注意
- ②骨性癒着をおこしている歯牙があるケース アンキロシス
- ③歯根尖が上顎洞底線にかかっているケース
- ④成人矯正では歯槽骨レベルの低下や知覚過敏が起こりやすい
- ⑤舌肥大のケースではクロスバイトを考へることもある
- ⑥バイトの浅い反対咬合

等が揚げられる、①などは多くのケースを見てきた矯正専門医でさえ予測できないところがあるわけだから、一般歯科医が矯正治療をはじめの場合にはどの症例でも「予測不能な骨格的成長のアンバランスが生じた場合には矯正治療では対応しかねます。不幸にしてそのような事が起こった場合には一切の矯正装置を撤去し、骨格的成長が収束するまで経過を観察し、しかる後に適切な治療法を示唆します」などの説明はしておいた方が良いでしょう。②に関しては全く歯が動かない、外傷の既往が有る歯にしばしば見られるが、動的治療開始初期の各歯牙の動きや打診音の違い、レントゲン像などを総

合的に判断して対処すべきである。③はレントゲンの詳細な観察と歯牙の動き具合から判断する必要がある。

④は事前にかかる可能性について説明しておく

ことが肝要である。⑤や悪習癖のように軟組織の力が持続的にかかるケースではその力の制御が出来ない限り歯牙移動は徒労に終わることもありえる。⑥は、骨格性の反対咬合に多く見られ、特に上顎前歯が唇側傾斜して、下顎前歯が舌側傾斜しているケースでは逆被蓋の量はわずかでも矯正治療単独では被蓋を改善できない場合が往々にしてある。

比較的手をつけやすいケースは

- ①矯正後に補綴処置を予定している場合
- ②骨格的に3級傾向の少ない(見られない)クロスバイト

①では、小さな歯牙移動の誤差を補綴的に解消できるし、移動後の歯牙が補綴によって保定されるので予後の安定がよい。②で言うクロスバイトとは1歯から数歯の交差咬合のことである、犬歯関係が安定しているケースでは往々にして予後の安定が良い。

不幸にして患者との間に意見の食い違いが生じた場合のトラブル解除のポイントは、その時点での患者の訴え、何が、何処が、どう気になるのか どこまでの改善を望んでいるのか等をきちんと聴取し、それに対して過去にお互いのコンセンサスが一致していた時点までさかのぼって食い違いの糸を解きほぐしてゆく作業が大切である、とのことでした。

演題のせいもあり、会場には若い先生の姿が多く見受けられましたが、わかりやすく解説して頂き、大変有意義な講演会でした。

(学術 渡辺猛士)



さらなる質と安全の向上にむけて

日本歯科医療管理学会春季セミナー

5月27日(日)福岡市 福岡サンパレスにて、日本歯科医療管理学会九州支部春季セミナーが開催された。出席者80名程で、熊本からは医療管理委員会の田中理事、宮本委員長、岡本委員、有働委員の4名で出席した。

今回、医療法の改正に伴い、全ての医療機関に ①医療安全の確保、②院内感染対策、③医療品安全確保、④医療機器安全確保について、指針等の作成とその実施が義務付けられた。

その概要と指針について、「医療安全の原則と定義」と題して事例を含め、講師として熊本市開業の伊東歯科医院、伊東隆利先生より発表、講演があった。

伊東先生は自医院の「ヒヤリ」、「ハット」した経験を基に医療安全の重要性を示された。

ハインリッヒの法則を挙げ、1) ヒヤリ・ハットを自覚できる感性、2) ヒヤリ・ハット体験を多くの人と共有しようとする態度が大切と述べられた。

「ハインリッヒの法則：1件の重大な医療事故の背景には29件の同種の軽微な医療事故、さらに300件の同種のインシデント(医療事故に至らない)事例が存在する」

伊東歯科では、マニュアル作成、定期的な勉



強会、医療安全週間(11月中旬)に合わせて医療安全標語をスタッフに募集・作成したり、治療項目それぞれにお経を作り、治療前に安全確認を行なう等、独自のアイデアで医療安全への取り組みが行われている。

また、実際の患者の症例(金属・ファイル等の誤飲、外科手術後の麻痺・疼痛、また、院内での階段・段差での危険、ユニットの誤作動等)を例に挙げ、インシデント(ヒヤリ・ハットやニアミスの事)、アクシデント、さらに重大な医療事故の発生、対処、解決について発表があり、全スタッフが同じ力量でいる事が大切と述べられた。

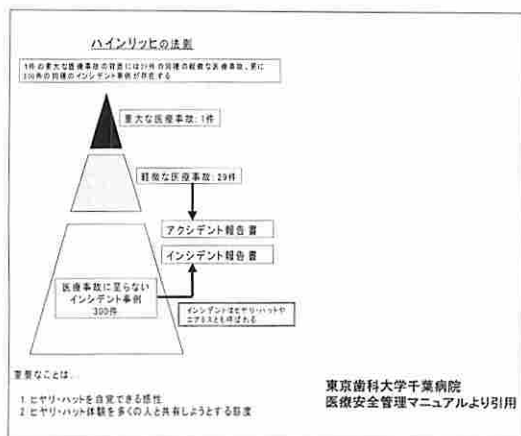
また、同歯科の伊東事務長より医療安全にかかるコストについての説明があった。

さまざまな方面から割り出し一日来院患者一人当たり350円とされ、1年間の総収入の4パーセントに当り、他の医療機関の中で一番コストがかかるという結果が出された。

いかに、ローコストで医療安全の質を落とさないかが課題となると述べられた。

まとめとして、医療安全は、患者とスタッフの安全確保、医療の質の確保が大前提でハインリッヒの法則より1:29:300の確率で「ヒヤリ・ハット」が発生している事からリスクの評価、危険・安全の感情教育、また、リスクの回避、軽減の努力が不可欠であるとした。

続いて、九州大学大学院医学研究院 鮎澤順



子先生より「さらなる質と安全の向上にむけて（いま歯科診療所に求められるもの）」と題して講演が行われた。

先生は、医療安全のみならず、・事故発生時の対応、・問われる法的責任、・保険の手当て等の問題が発生する為、リスクマネジメントが必要になると説かれた。

そのリスクマネジメントは、発生防止のみならず、発生時、発生後を、一連の流れの中で考える取り組みであるとした。

次に医療安全の視点からポイントとして次の4項目を挙げられた。



1) 医療界における医療安全の取り組みに関する現状と動向を理解する

2) 現場の取り組みを見直す

再発防止・発生防止には事例の共有が不可欠。特に何故、失敗に気付いたかが大切。

3) 安全に関する基本を確認する

・ 他の産業界で導入されている考え方
「Fool Proof」……間違いたくても間違いう事ができないように設定されていること

「Fail Safe」……間違えても事故（大きな事故）にならないように設定されていること

・ 「整理・整頓・清潔・清掃」の徹底

医薬品及び歯科材料の整理・整頓、院内の清潔・清掃が、異常を発見する環境作りにつながる

各医院における整理、整頓、清潔、清掃等がきちんと行われている通常の状態、いわゆる



る「標準化」の徹底

標準化は、異常が見えるようにするという点で大切である

4) 知識と技能を確認する

- ①「医療水準」に照らした知識と技能
- ②緊急事態、異常事態に対応できる知識と技能→事故発生時の対応
- ③チームのメンバーの力量の確認

まとめとして今後の課題を挙げられた

（課題1）事故防止、安全管理に関する体系的な教育プログラムの構築が必要

（課題2）医療安全の取り組みは医療機関のみならず、患者参加の医療安全の展開→「個の安全への参加」と「全体の安全への参加」

（課題3）取り組みの環境整備が急務

（課題4）「医療の現場の安全と安心」に関する「社会の議論」が必要⇒そして、「医療」に関する「社会の議論」が必要である

以上が今回の講演会の内容であるが、医療安全対策は、医療従事者である我々にとって必要不可欠で、まず真剣に取り組んでいかなければならない事柄であると思います。患者を守り、私たち自身を守るために、医療安全を学び、安心して患者が通院できる医院作りの実現に全力を注ぐべきと考えます。

（医療管理 有働秀一）

第48回 日本歯科医療管理学会 報告



7月14、15日と長崎で行われました日本歯科医療管理学会総会・学術大会に、医療管理委員会から田中、宮本、高橋、岡本、徳丸の5名で出席して来ました。連休の初日にもかかわらずあいにくの台風通過で、本来は熊本港からフェリーで島原に渡って行く予定でしたが、全便欠航ということで、陸路に行く事になりました。途中、風にあおられてズルズル滑りながらも何とかたどり着く事ができました。グラバー園を借り切ったの懇親パーティーも残念ながら開催中止だったのが心残りでした。

今回は、「「うまくいく……」には理由(わけ)があるー反転回復へのビジョンー」というテーマに対して、マネージメントという観点から4名の講師によるリレー講演という形で特別講演がメインで行われました。

1 日歯会長 大久保満男先生による

『社会展望と歯科界としてのミッション』

ーわれわれはどこへ向かうべきか?ー

会長は、今、激しく揺れ動く時代に直面しているわれわれが、どうすればいいのかについて話された。これまで、国策として医療費がどのようにコントロールされてきたかを振り返り、今日の歯科界のおかれている厳しい現状について話された。また、今年度に立ち上げた研究機関を充実させることが重要であると語られた。

2 北九州市開業 村上和彦先生

何をきっかけに、どう変わったか

ー私の診療所の場合ー

3 長崎市開業 角町正勝先生

“かたち”が人を変え、人を育てる

ー在宅診療への取り組みでわかったことー

4 日本医療管理学会副会長 永山正人先生

マネージメント論から考える歯科医院経営戦略

ーこれから目指す舵取りはこれだー

厳しい時代における歯科医院経営戦略は医療の原点に戻って考え、そこから導き出されることを実行することである。つまり患者のニーズに応えることが成功のポイントである。これからの我々の目指す舵取りは、一部企業が行っている競争相手を蹴落とす競争戦略ではなくて、患者満足度を目指す恋愛型戦略を行うべきである。この戦略こそが、会員も共存共栄でき、歯科界を明るくすることができるものと思われる。

その他、医療安全セミナー2題、会計担当者セミナー、ITフォーラム、口演26題、ポスター発表21題、参加企業によるテーブルクリニックなど多岐にわたり発表が行われました。

医療安全セミナーでは、医療安全と歯科衛生士の役割について伊東歯科医院に勤務する淀川尚子・中村昌代衛生士による講演があった。医療安全のために必要なこととして、院内での安全管理指針の規定、インシデントレポートの提出、院内研修の必要性が語られた。特に、レポートを提出することで、起こった事故に対する改善策を講じることができ、そのインシデントを多くの人と共有することができる有用性があると話された。また、日々の診療の中で医療事故に対するリスクを感じる感性を養うことが大切であると話された。



会計担当者セミナーでは、可処分所得を見直そう！—うまくいくには理由がある。医院経営の立場から—白土清司先生

これまで医院経営という、医院収入や院長所得をいかに増やすかということに重点が置かれてきましたが、その結果、診療時間の延長や日祭日に診療せざるを得なくなったり、必要経費の削減のために従業員を削減したりなど院長の精神的・肉体的・時間的負担を増加させています。私たち歯科医師は、いかなる状況においても良質な歯科医療を国民に提供しなければならないという責務があります。今後、医療制度改革が進み、今以上に厳しい状況になることも考えられます。

税法上もリース会計の見直しでしょうか？平成20年4月からとのことですが、これまでリース会計で処理していた取引は、減価償却と、利息として損金算入として分けて会計処理する様になるのだそうです。リースも売買と同等とみなすということの様です。また減価償却制度の改正で、今年4月1日以降の購入であれば、1円を残してほぼ全額償却できるという残存価額の考え方も無くなります。これをメリットとするかどうかは、わかれるところでしょう。

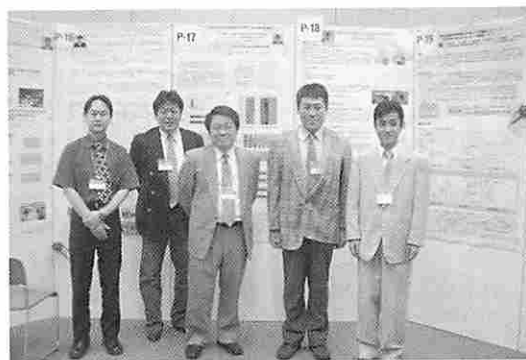
そこで診療所の経営を考えると、収支計算だけでなく、収支の中身、特に実際に使えるお金、可処分所得が問題となっています。可処分所得とは減価償却、専従者給与、院長の税引き後の利益、その他の医院以外の収入の合わせたものです。そしてこの中には、既に用途が決まっている支出があります。それは生活費、歯科医師

会関連費、借入金返済、保険掛け金関連、小規模共済、固定資産の購入代金等です。当然、可処分所得より使途予定支出を引いた純可処分所得はさらに小さくなります。この純可処分所得を計算しないと、実際収入が増加したかどうか、言い換えれば私たちの生活を豊かにしてくれるだけのアップになっているかがわからないのです。このあたりを十分に理解を深めた上で、どうすれば増加させることができるか検討していただきたいと思います。そして、それこそが今後の厳しい歯科界にあたって、歯科医院の経営および院長の生活設計をより安定したものにしていくなめの出発点になるのではないのでしょうか。ちなみに幸福であるためには、2つの方法があって、望みを減らすか、資産を増やすかのどちらかだそうです。

IT化フォーラムに関しては、森本徳明先生よりレセプトオンライン化に向けての国の施策の今までの経緯や官民が協力し、電子カルテ、レセプトの電算化に関する道筋を詳しく説明された。

その中で、問題点となるのがIT化財源の別途確保、種々の理由によるオンライン化が困難な医院への対応は？ セキュリティーの確保などについて十分議論され、日本医師会と共同歩調をとりながら解決を図っていくよう努力を求める意見を述べられた。

また、ソフト面でも、60社近くのレセコン関連企業の標準ソフト統一が急がれている旨を説明された。



オンライン化が実施されるとして今までにわかったことは、回線についてはN T Tのフレッツ網を使用すること、請求事務はかなり簡素化され、返戻については今まで通り“紙”で知らせが来るシステムというところまでは伝わってきている。

最後に、歯科医師会や学会が調査のためアンケートを一般会員にお願いするが返戻率が低すぎてデータとして信憑性が低く、いろんな施策の元になるデータとして使えず、会として公共



の場での意見が言えないので、今後このようなアンケートが来た場合は是非協力をと懇願され、講演を終了された。

一般口演、ポスター発表においても、アンケート解析から地域保健、医療訴訟など多岐にわたり発表があり、歯科医院経営という観点だけではない医療管理という分野の奥深さを感じた学会であった。

(医療管理 徳丸恵介)

お勧めの一枚

The Moon Revisited - A Tribute to Pink Floyd - 1995 Progressive Rock
Paul McCartney / Memory Almost Full
Michael Brecker / Pilgrimage

マイケル・ブレッカーはこれから円熟のプレイを聞かせてくれるというときに、白血病に罹りついこの間亡くなってしまった。2、3年前のライブを聴いてもぜんぜん元気にブローしている。突然の病は悔しい。今のところ、これが遺作となっているが、ここ数作で聴かせてくれた深い瞑想性も変わらず健在。リバーサイドのビル・エヴァンスと同じくらい繰り返し聞ける人がまたいなくなってしまう。ほんとにもったいない。

マッカートニーはずいぶん昔の『RAM』を髣髴とさせる快作。聞いていて心が弾んでくる。老いぼれて、髪が薄くなってもバレンタインやバースデー・カード、それにワインをおくってくれるかい、と唄ったその歳を越えても変らぬこの人は本当に天才。

追憶の月一あの名盤「狂気」のコピー。といっても新進気鋭の連中ががががやっちゃっています。A面1曲目からB面ラストまで、完コピ。思わず、レコード棚からLPを引っ張り出して聞き比べました。フロイトの曲はスタジオでしかできないと以前はいわれていましたが、80年代には「ボンベイ・ライブ」や「PULSE」などのビデオを出してライブでもやれるんだよ、ということを見せ付けられました。今でこそ、彼らの70年代のライブ・ブートレグがたくさん出回っていますが、あの頃は福岡にいてもなかなか手に入らないものでした。今の若い連中はあの難しいコンビネーションを上手くこなしているなあ。プログレ小僧（おじさん？）の血が騒ぐ一枚。

平成19年度学校保健理事会

5月29日（火）、午後2時半より京町の熊本市人材育成センターで平成19年度学校保健理事会が開催された。

豊田大徳会長の挨拶で始まり、平成18年度事業報告及び決算報告、平成19年度事業計画及び予算案等について協議を行った。

その他として、最近発生している光化学スモッグについてですが、北九州市の学校が運動会を中止したように、熊本市も同様な処置をとるそうです。

なんだかかわいそうです！

下記の表が配布された資料です。

熊本市の小学生と中学生の平成18年度定期健康診断状態調査集計表です。

小学生から中学生になるにつれて、歯垢、歯肉の状態が、悪くなっています。

他の分野では、裸眼視力が悪くなっています。

勉強のしすぎ、いやゲームかな？

ご参考までに。

平成18年度 定期健康診断健康状態調査集計表（小学校）

項 目				男子	%	女子	%	計	%
歯 科	受検者数			20,177	98.8%	19,174	98.9%	39,351	98.9%
	(1)う歯	乳歯又は永久歯	ア. 処置完了者	6,661	33.0%	6,282	32.8%	12,943	32.9%
			イ. 未処置歯保有者	7,547	37.4%	6,746	35.2%	14,293	36.3%
			ウ. 要観察歯保有者	2,510	12.4%	2,602	13.6%	5,112	13.0%
			エ. 永久歯のう歯経験者	5,795	28.7%	6,295	32.8%	12,090	30.7%
	(2)歯列・咬合・顎関節の異常	いずれかが2の判定		619	3.1%	566	3.0%	1,185	3.0%
		いずれかが1の判定		2,095	10.4%	2,236	11.7%	4,331	11.0%
	(3)歯垢の状態	2の判定		682	3.4%	477	2.5%	1,159	3.0%
		1の判定		3,444	17.1%	2,905	15.2%	6,349	16.1%
	(4)歯肉の状態	2の判定		499	2.5%	352	1.8%	851	2.2%
		1の判定		2,605	12.9%	2,376	12.4%	4,981	12.7%
	(5)その他の歯・口腔の疾患・異常			945	4.7%	864	4.5%	1,809	4.6%
	(6)永久歯のう歯の内容※6年生のみ	ア. 未処置歯数(D)		1,667		1,859		3,526	
		イ. う歯による喪失歯数(M)		6		32		38	
		ウ. 処置歯数(F)		2,673		3,120		5,793	
エ. 一人あたりの平均DMF歯数		1.3		1.5		1.4			

平成18年度 定期健康診断健康状態調査集計表（中学校）

項 目				男子	%	女子	%	計	%
歯 科	受検者数			9,722	97.0%	9,270	97.3%	18,992	97.2%
	(1)う歯	乳歯又は永久歯	ア. 処置完了者	3,333	34.3%	3,593	38.8%	6,926	36.5%
			イ. 未処置歯保有者	2,510	25.8%	2,482	26.8%	4,992	26.3%
			ウ. 要観察歯保有者	1,694	17.4%	2,115	22.8%	3,809	20.1%
	(2)歯列・咬合・顎関節の異常		いずれかが2の判定	322	3.3%	316	3.4%	638	3.4%
			いずれかが1の判定	1,683	17.3%	1,563	16.9%	3,246	17.1%
	(3)歯垢の状態		2の判定	307	3.2%	132	1.4%	439	2.3%
			1の判定	2,263	23.3%	1,641	17.7%	3,904	20.6%
	(4)歯肉の状態		2の判定	264	2.7%	136	1.5%	400	2.1%
			1の判定	1,903	19.6%	1,394	15.0%	3,297	17.4%
	(5)その他の歯・口腔の疾患・異常			343	3.5%	287	3.1%	630	3.3%
	(6)永久歯のう歯の内容※1年生のみ	ア. 未処置歯数(D)		1,806		1,969		3,775	
		イ. う歯による喪失歯数(M)		99		84		183	
		ウ. 処置歯数(F)		3,469		4,020		7,489	
エ. 一人あたりの平均DMF歯数		1.7		2.0		1.8			

（学校歯科 井手裕二）

第28回熊本市学校保健会総会・合同研修会

6月26日（火）14：00より熊本市学校保健総会が、熊本市産業文化会館にて開催された。

熊本市医師会豊田大徳先生の会長挨拶に始まり、協議が行われた。その後、熊本市学校保健功労者（勤続15年）の表彰式が行われ、歯科では、藤波好文先生と竹下憲治先生が受賞された。（竹下先生は、都合により欠席）14：30より合同研修会が開催され下記の講演が行われた。

（テーマ）

『食と命のつながり「命の教育」は「心の教育」』
講師 高尾忠男 氏（福岡県立朝倉農業高等学校講師）と 堺 浩一 氏（元生徒）ビデオ（高尾氏が久留米筑水高校教員のときの実習）上映と講演

生から死（種卵～ヒヨコ～飼育～解体～試食）という相矛盾する、「命の教育」を加えた二本立て「車の両輪」とした授業内容で、自分達が日々愛情を注いで育てた鶏を、自らの手で命を絶ち、捌き、食する事で「命の尊さ」「命の重さ」を体験させる「心の教育」でした。

実習のビデオでは、ペットの様にかわいがっていた鶏を、解体する際、生徒達による号泣・嗚咽・悲鳴が辺りを支配し、異常な雰囲気の中で作業が実施され、その後、全員で日頃と違う「いただきます」を合掌し、拒絶反応をしていた者が、自分の気持ちが信じられない「切ない味がする」と言って全員食べていた。

人は、生きていくためには食べなければならない。

食べる前の「いただきます」の意味、食べ物は全部命である。ほかの命をもらって生きている、感謝の気持ちを学んだ講演会であった。

その実習授業後の生徒（2名）の感想文

堺 浩一 氏（農業自営22歳）

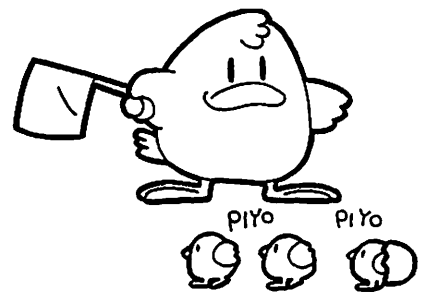
久留米筑水高校1年生時の感想文

＜実習前の感想文＞

「命の実習」

堺 浩一

もう「解体実習」です。「本当言うとしたくありません。」初めはそんな気持ちが強かった気がします。でも、今は変化しました。「解体実習をやるなら最後まで、技術面や命の大切さをしっかりと学ぼう」そう思ってきました。「いただきます。」の本当の意味や、農業の大切さも考えたいです。最後に「ニワトリ」に詩を贈ります。



「命の実習」

一年二組十三番 堺

浩一

「ニワトリ」

あなたに私はたくさんさんの愛を注いだ
小さくて、カワイイあなたでした
やっぱり大きくなりだすと
育てるのが嫌になる時もありました
けどやっとなれました
首をかしげながら私の目を純粋な愛(め)で見ます
手をさしやるとこちらによってきます
もう、あなたの命はなくなります
愛着のないただの肉へと加工します
だけど私たちの心の中では
あの時の眼差しや、香り、温もりはずっと生きて
います
絶対忘れません
そうやって人間は生きていく
手段として選んだのだから

「今、生きている。」

あなたの命を頂いて私は生きている
たとえその命が小さな物でも

その命を頂かなければ生きていけない
生きることができない

命を奪うことが罪だというのなら

私たちは何を償えばよいのでしょうか？
生きることそれはとても難しいこと

「もう死にたい！」

苦しくて、辛くて、そう思う時が

たくさんあるだろうけど

「自分の生命(いのち)は」

一人の力で生きているんじゃない！」と

心の中で思いながら

自分の力を信じながら

強く強く生きていきます

あなたたちに

《実習後の感想文》

「何を…学んだの？」

解体の日が来ました。朝は、全く動揺なんかはしていませんでした。どんどん迫ってくる時間さえも気になりませんでした。しかし、鶏舎に行くとたん何故か今までの思い出が脳裏に浮かびました。最初、ヒヨコを受け取った時の思いや、餌やりなんかで来た時、ヒヨコが「待ってたよ」って言っていたような気がしたことなど……。涙も次々に溢れてきました。そして実際、人がやっていることを見ていると「したくない」という気持ちより「一回でと殺できるかな」という不安が大きくなりました。そんな不安のなか自分達の順番が回ってきました。「逃げ出したい！逃げ出したい！」そう何回も思いました。私はけい動脈を切りました。しかし、一回で切ることができず泣き崩れてしまいました

た。かれの苦しみが伝わったのかどうか自分の記憶にはありませんが、かわいそうだから涙が流れたのではありません。自分の弱さに気付いたのでしょうか。「解体実習」が終わった直後は、「やりとげた」という満足感だけで「かなり学べた」と思い込んでしまっていました。しかし、二日後ぐらいに友達から「今、解体実習で何を学んだか分かる？」って聞かれました。確かに、ひよこから育てて愛情がわき、命を育てることが難しいこと、命を終わらせるという行為は一瞬であること、その行いには責任があり、重みがあるということが分かりました。でも今、「ニワトリの命の大切さ」だけが分かっただけでそれは結局、ニワトリに対する命の大切さでしかありません。この授業で学んだことをどう生かすか、またそれが自分にプラスになったのかこれからも考えていかなければならないと思います。この授業は今も私の心の中で進んでいます。(学校歯科 井手裕二)

学校保健功労者表彰を受けて

平成19年度熊本市学校保健会総会

6月26日、産文会館で開催された熊本市学校保健会総会にて竹下憲治先生と共に学校歯科医を15年勤めたので表彰を受けました。今年は2人だけで例年に比べると少ないそうです。ただ学校歯科医を続けただけで大した事もせず表彰を受けるのは、申し訳がないとの思いと、学校歯科医で少しでも社会に貢献出来ているとの思いもあります。

私は必由館高校で学校歯科医が2名になった時に委嘱されました。それまで1人で頑張って



いらっしゃった斉藤建先生は大変だったと思います。特に、健診は歯科だけ遅くまで残り行っていたと苦勞を聞きました。主な活動として4月に3日間の健診があります。必由館の生徒のカリエスは全国、県でも少ないほうです。しかし、歯肉炎や歯列不正の生徒が目につくようになりました。矯正をしている生徒も結構います。

ただカリエス等を指摘しても放置されたままが多いのは残念です。また、7年前より10月に2年生を対象に歯科の健康講話の時間があり、噛む事、口腔の機能、ブラッシング等を斉藤先生と交替で行っています。高校生だけに理解は良いようです。校舎新築に伴い視聴覚教室が出来ましたので、パソコン、スライドを用い、より解りやすく出来そうです。2月には保健委員会があり、生徒の積極的な発表もあり、若者の考え方など参考になりますし、アドバイス等も、直に受け入れてくれます。保健室の先生の努力と苦勞も身に沁みます。また、年に数名歯の外傷、歯痛で来院します。これからも貢献できるよう頑張っている所存です。

(北部1 藤波好文)

おめでとうございます

吉良直衛先生 春の叙勲受章



本年5月1日付けで、吉良直衛先生が、瑞宝双光章を受章されました。

永年にわたる地域歯科医療並びに学校歯科保健へのご貢献に対して、授与されております。

先生が現在入居されている、内坪井の行徳眼科裏、小規模多目的ホーム明篤館へ、6月16日(土)、古賀会長、中川厚生担当理事、私の3名でお伺いし、お祝いを述べてまいりました。当日は奥様、ご子息の裕明先生も同席され、お話をうかがいました。

先生は、昭和18年3月に日本大学歯学部を卒業、と同時に人吉の武末歯科医院に勤務、その後昭和23年10月に新町のお父上の診療所に3代目として従事され、以来58年の長きにわたり地域住民の口腔保健衛生の向上に寄与されてきました。

先生は熊本大学附属の中学校、幼稚園、養護学校、小学校の歯科校医として40年以上にわたり貢献されてきました。平成17年3月を持ってその座をゆずられましたが、学校歯科医として

口腔衛生指導に力を注がれたことは、食後の歯磨き、正しい歯の磨き方、歯科講話、歯の健康相談などを行い、教職員や保護者を対象とした研修会、講演会などさまざまな取り組みをされたことで、児童生徒の口の健康に大なる功績が認められます。

そのなかで、一番勉強したのは養護学校だったかなあ、と懐かしそうに言われていました。ハンディキャップをもつ子どもたちへの対応は大変なことだったと思いますが、当時、養護学校に足踏みエンジンがあったので、朝早く学校へ行って、C₁などの治療を行い、それから診療室へ帰って診療したりしていた。それが法改正により、学校で(初期)治療ができなくなったのが残念でならない、と言われていました。

大学の同期の先生方は、熊本市内では皆鬼籍に入ってしまったとのことですが、悠々自適の毎日でお元気にお過ごしくださるよう祈りいたします。



(広報 古川猛士)

「聴衆を引きつける技術」

— AAED2007 Report —

川口歯科医院 川口 孝

コロラド州の中心都市コロラドスプリングス。その歴史あるリゾート地にある五つ星のブロードムーアホテルで8月1～4日、第32回AAED (American Academy of Esthetic Dentistry) 年次会議が開催された。AAEDはR.Goldstein氏の発案により1975年創設され、本部がイリノイ州シカゴにある。AAEDの理念は、審美歯科学の口腔周囲全体の健康への統合促進、および、研究、出版と教育的プレゼンテーションを通じ、臨床的、科学的、芸術的、倫理的に最高のインターディシプリナリーな基準を定義し、リーダー的役割を果たすことにある。会員は合衆国のほか、10カ国に分布する。入会は学際的レベルを最高に維持するため会則で制限され、招待者のみが会員になることができる。当然日本人の会員も桑田正博氏、田中朝見氏、河津寛氏、Aki Yoshida氏等ごくわずかである。

今回我々はAAED創設者R.Goldstein氏の厚意により参加する機会を得た。その濃密な3日間にわたるレクチャーの中で、第一講演者の発表内容を報告しようと思う。矯正で世界的に有名なKokich氏、およびその娘の共同講演である。内容は矯正に関するのではなく、なんとプレゼンテーションの技術についてである。

Kokich親子、教育講演「惹きつける技術」

1年ほど前AAEDからKokich親子に1通の講演依頼書が届いた。「ご講演をお願いします。演題等は一任いたします。」このような手紙が届いた時、あなたならどうするだろうか？ Kokichらはこうした漠然とした依頼が最も頭を悩ませる、としながらも、演題の選び方を招待側にふさわしい話題選びをし、その中に何かユニークなトピックを織り交ぜること、そして、招待者側に即した言葉遣いで講演を心掛けるよう解説した。そして、内容の掘り下げ方については、発表時間を考え、例えば60分の講演では10分ずつ6つのパートに分け、広く浅くよりも、メリハリのある発表の運び方を、自らの症例を交えながらレクチャーした。

さて、昨今の勉強会ではMicrosoft PowerpointもしくはAppleのKeynoteを用い、データプロジェクターによる発表がほとんどである。そのような発表で聴衆を飽きさせず、集中させるために必要なスライドの枚数は何枚だろう？

Kokichらは講演で30秒に約1枚、1時間で約160枚が望ましいと述べた。すなわち、一般の聴衆は1枚のスライドに集中できる時間はせいぜい15秒だそうである。15秒を超えて同じスライドを見せられると、聴衆は飽きて別のことを始めたり、最悪の場合席を立つそうである。15秒を超えて同じスライドを聴衆に見てもらうためには、①ストーリーのある話をし、聴衆を話に引き込むこと、②聴衆に効果的な質問をし、演者の側に巻き込むこと、を勧めていた。

発表本番のときの注意事項としては、原稿を読まないで自分の言葉で話すこと、また、スクリーン、液晶画面ばかりをみないで、聴衆を見回すこと、演者に照明を当てた状態で発表することの重要性を

述べた。また、声の調子、話し方も解説した。大切なのは、多くの聴衆全てに話しかけるのではなく、聴衆の中から2〜3人をピックアップして、その方々の目を見つめながら話しかける、それも、日常会話の声の調子で話すことがポイントだそうである。私自身、過去に拝聴した先生方で講演が素晴らしかった記憶のある方は、確かにこのスタイルを踏襲していることを思い出した。

スライド画面の構成の仕方であるが、分割する面が増えれば増えるほど話す焦点がぼやける。出来るだけ1枚のスライド上にのせる写真の枚数は厳選すべきである。また、術前・術後などの時間経過を示したい場合、左が術前、右が術後と統一した方が、聴衆は混乱せず、話に集中することが出来る。そして、一度に全部の写真を表示するよりは、最初に術前を表示し、クリックして術後を表示した方が伝わりやすい、これなどは基本中の基本であろう。

Powerpointによるスライド作製時の注意事項としては、バックグラウンドは原色を用いずに黒、もしくはダークグレーなど、写真や文字を浮き立たせるものが望ましい。テキストの色の基本は白で、バックグラウンドとコントラストの強いものが良い。バックを赤や黄色など派手なものにする時は、話の内容を考えて。文字の大きさは40〜60pt以上でなければ、聴衆は読む気が損なわれる。文字のフォントもシンプルでギザギザの少ないモノが読みやすい。また、アニメーションの使用にも、テキストの出現には左から右へのワイプ、もしくは、フェード、ディゾルブが良好で、ムーブインやその他の移動を伴うアニメーションは聴衆の目を疲れさせ、混乱させるので使うべきではないとのこと。

以上、Kokich親子のプレゼンを報告したが、流石に超一流の歯科関係者の前でレクチャーするだけあって、起承転結、スライドの写真、話し振り等は世界一流のものであった。惜しむらくは聴取した私自身の英語力の乏しさから報告に不足や、正確さに欠けるところもあったかもしれない。が、そこはご愛嬌とお許しいただければ幸いである。





今年のフワは一味違う！

夏だ！ ビールだ！

第31回熊本市歯科医師会親睦大会



梅雨前線の活発化で開催が危ぶまれる中、7月7日（土）午後6：30よりホテルニューオータニ熊本にて、恒例のビアパーティーを開催しました。会員先生方の集まり具合を気にかけておりましたが、ほぼ予定していた参加をいただき、総勢約110名での親睦大会となりました。

まず主催者代表として古賀明会長、来賓代表として県歯堤直文会長からご挨拶いただき、今月末の参院選での石井みどり候補の当選の為に日々奮闘されている、県歯科医師連盟有田俊昭幹事長の乾杯のご発声で開宴となりました。

今年は会場も一新し少しリッチなビアパーティーとなるよう企画しまして、まず、「2007HULA NIGHT」と題し、フラスタジオ「ナレイオホク」の美女6名によるフラダンスショーをお楽しみ頂きました。曲毎にドレスの色や、デザイン、レイ等のアクセサリを変えて繰り広げられる30分余のショーに会員の視線は釘付けでした。（私的にはビールより、ブルーハワイ系のカクテルが欲しくなりました。）

後半では皆様お待ちかねのビンゴゲーム大会、1本3万円の高級ワインをはじめ特選黒毛和牛、

懇親ビアパーティー



当ホテルディナー券・宿泊券が大当たり、又、美味しい残念賞としてインスタントラーメンをご用意しました。司会役、進行役もビールでテンションが上がり、会員先生方へのリップサービスも昨年よりパワーアップして場内笑いと歓声に包まれました。(無礼がありましたら、この場でお詫び致します。)

例年同様、ビアサーバーは空となり、瓶ビールにワイン、焼酎までも元気に飲んでいただいた皆様の談笑さめやらぬ中、閉会のお時間となり、最後に藤波好文副会長の万歳三唱をもちまして、親睦ビアパーティーも盛会のうちに終了いたしました。

お足元悪い中を、ご参加いただきました会員の皆様、準備でお世話になりました事務局の三人娘、委員会のメンバーに感謝申し上げ報告とさせていただきます。

この原稿が記事となる時には、石井みどり氏当選のニュースが歯科界に届いておりますことを祈念しております。

(厚生 秋山 清)



新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 わたなべ ひろふみ 渡辺 裕文
 診療所名 小山歯科医院
 (診療所) 〒861-8035 熊本市小山二丁目 3-37
 電 話／096-380-0001 FAX／096-380-0002
 (自宅) 〒862-0950
 熊本市水前寺 2 丁目17番 1Dクラディア水前寺401
 電 話／096-381-0404
 生年月日 昭和49年12月 9 日
 趣 味 貯金
 好きな言葉 特になし
 経 歴 私立桃山学院高校卒業
 昭和大学 12年卒
 楠渡辺歯科医院 3 年間勤務
 戸島渡辺歯科医院 3 年間勤務



氏 名 やぎ としあき 八木 俊晃
 診療所名 菅原歯科医院
 (診療所) 〒860-0805 熊本市桜町 4-27
 電 話／096-352-7413 FAX／096-352-4140
 (自宅) 〒860-0816
 熊本市本荘町753 レスポワール式番館402
 生年月日 昭和47年12月 8 日
 趣 味 スポーツ、アウトドア
 好きな言葉 気合い
 経 歴 熊本商科大学付属高校卒業
 愛知学院大学歯学部 H10年卒
 愛知学院大学付属病院口腔外科 3 年間勤務
 城山歯科医院 3 年間勤務
 東・岩尾歯科、ふみこ歯科医院各 1 年間計 2 年勤務



氏 名 いのうえ やすこ 井上 泰子
 診療所名 井上歯科医院
 (診療所) 〒861-5513 熊本市鶴羽田町1044番地 3
 電 話/096-345-1045 FAX/096-345-2045
 (自宅) 〒861-5513
 熊本市鶴羽田町1044番地 4
 電 話/096-346-2258
 生年月日 昭和30年11月13日
 趣 味 園芸・手芸・アマチュア無線
 好きな言葉 「幸せは いつも 自分の心が決める」
 経 歴 福岡中央高校卒業
 福岡歯科大学 S55年卒
 九州大学第2補綴科 1年間勤務
 熊本市川崎歯科医院 1.5年間勤務
 熊本市井上歯科医院 22年間勤務



氏 名 よし い ゆうじ 吉井 裕二
 診療所名 吉井歯科医院
 (診療所) 〒860-0846 熊本市城東町5-59
 電 話/096-353-6240 FAX/096-353-6240
 (自宅) 〒860-0844
 熊本市水道町13-10-201
 生年月日 昭和44年11月17日
 経 歴 熊本工大高等学校卒業
 福岡歯科大学 H10年卒
 国立熊本病院勤務
 吉井歯科医院勤務



スポーツの広場



熊本デンタル会

5月27日 空港カントリー		15名				
		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	甲斐利博	41	43	84	13.2	70.8
2位	椿幸雄	49	51	100	27.4	72.6
3位	三笥司	47	42	89	15.1	73.9
4位	本田亘	43	48	91	16.5	74.5
5位	中根俊吾	53	46	99	23.8	75.2
B・B	神戸威	59	51	110	25.8	84.2

6月 雨で中止

7月22日 赤水ゴルフクラブ		17名				
		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	千場正昭	44	43	87	20.8	66.2
2位	工藤考昭	46	52	98	30.0	68.0
3位	元島博信	44	42	86	15.9	70.1
4位	椿幸雄	47	51	98	27.4	70.6
5位	秋山清	50	51	101	30.0	71.0
B・B	奥田洋実	47	48	95	11.0	84.0

空港デンタル会

6月3日 ダブルペリア方式		15名				
		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	三笥司	41	43	84	13.2	70.8
2位	工藤隆弘	43	45	88	14.4	73.6
3位	添島正和	44	43	87	13.2	73.8
4位	稲葉逸郎	40	39	79	4.8	74.2
5位	渡辺博	42	43	85	10.8	74.2
B・B	吉田皓一	59	56	115	30.0	85.0

あつまるデンタル・ゴルフ会

4月22日		13名				
		OUT	IN	GRO	HP	NET
1位	河野敬明	43	47	90	22	68
2位	奈良健一	41	44	85	13	72
3位	細川孔	50	47	97	25	72
4位	宮崎幸一	43	44	87	14	73
5位	坂井満	45	44	89	16	73
B.B.	合沢康生	49	49	98	16	82

5月13日		14名				
		OUT	IN	GRO	HP	NET
1位	合沢康生	44	43	87	16	71
2位	宮崎幸一	45	41	86	14	72
3位	古賀明	40	47	87	13	74
4位	細川孔	48	51	99	25	74
5位	河野敬明	49	43	92	18	74
B.B.	永田博久	61	60	121	36	85

6月17日		13名				
		OUT	IN	GRO	HP	NET
1位	永田博久	51	55	106	36	70
2位	本田治夫	48	48	96	25	71
3位	古賀明	44	41	85	13	72
4位	山室紀雄	46	47	93	20	73
5位	宮崎幸一	50	42	92	14	78
B.B.	木村洋	53	55	108	22	86

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
4 月 23 日	公益法人立入調査後の改善報告書について 障害者歯科への取組について 市民向け広報について
5 月 22 日	「厚労省の医療広告ガイドラインの詳細」について 本年度上通イベントについて 緊急社保説明会について 職員就業規程について 医療広告の規制緩和について
6 月 25 日	上通イベントについて 職員就業規程について
7 月 23 日	上通イベントについて 職員就業規程について 妊婦歯科健診について

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
6 月 8 日	ピアパーティー打ち合わせ
6 月 29 日	ピアパーティー打ち合わせ
7 月 20 日	代診派遣制度について 健康診断打ち合せ
8 月 17 日	H19年度熊本市民健康フェスティバル打ち合せ 代診派遣制度について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
4 月 20 日	ビデオカセット等の貸出しについての検討 H19年度歯みがき巡回指導の予定 6 月 12 校 10 月 4 校
4 月 26 日	歯科検診の結果のお知らせ 会長委嘱状の交付 理事より年間計画について説明 各自自己紹介
5 月 23 日	歯みがき巡回指導等の担当決め 6 月歯磨き巡回指導について 社保説明会について（5 / 19） 学校保健理事会（5 / 29） 歯の祭典（6 / 10）
6 月 27 日	歯磨き巡回指導の報告と反省会・問題点について 熊本県学校保健協議研究会 熊本市民健康フェスティバル
7 月 24 日	熊本県学校保健研究協議大会 熊本市民健康フェスティバル ビデオ等貸出し状況 熊本市エイズ総合対策会議

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月16日	緊急社保説明会及び薬情君説明会準備 各郡市社保担当者会議について
6 月13日	青本の勉強会 H19年度個別指導計画としくみについて 青本の勉強会について
7 月18日	支部別社保委員について 7 月19日緊急社保説明会準備 カルテ相談

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6 月14日	薬情君ソフト使用相談者に対応 介護予防事業資料の作製について 広告規制について
6 月21日	介護予防事業マニュアル作成について
7 月12日	昭和薬品化工「カロナール」とAEDについての講演会について 介護パンフレットの進捗状況について 広告規制緩和について
8 月 9 日	熊本市学術講演会について
8 月18日	市歯科医師会第1回学術講演会

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月15日	中岳137号編集
5 月28日	かわら版 6 月号編集 中岳137号第1回校正
6 月 1 日	中岳137号第2回校正
6 月27日	かわら版 7 月号編集 歯の健康講話資料検討 中岳137号パソコン取り込み 中岳137号反省会
7 月25日	かわら版 8 月号編集 理事会報告

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月 24 日	医療広告ガイドラインについて検討 スタッフ研修セミナー 国立病院機構熊本医療センター協議会 白血病治療中の口腔管理について 立看板について違法なものをチェック 第 3 回日本歯科医療管理学会
5 月 29 日	医療相談 13 件
6 月 9 日	スタッフレベルアップセミナー
6 月 14 日	スタッフレベルアップセミナー反省 放射能漏洩測定器説明書の作り直し 国立病院機構熊本医療センターでの口腔ケア講習会
7 月 25 日	要介護者の口腔ケア歯科治療、基本クリティカルパスについて 医療管理学会のレポートについて 歯科麻酔学会より歯科治療の全身的偶発症アンケート調査について 三歯会について
7 月 26 日	医療相談 20 件

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月 29 日	2007 歯の祭典協議 ①タイムスケジュール ②スタンプラリー、アンケート ③景品 ④その他
6 月 8 日	2007 歯の祭典景品チェック 平成 19 年度幼稚園フッ素塗布日程 熊本市民健康フェスティバル
6 月 15 日	2007 歯の祭典集計
7 月 19 日	健康フェスティバル協議 K K T 子育て支援出務割りあて

番外編：お勧めの展覧会

ATTITUDE2007 人間の家—真に歓喜に値するもの—
(7/21—10/14) 熊本市現代美術館にて

CAMK 開館5周年記念展として好評開催中です。

開館イベント ATTITUDE2002 何がすばらしかったかというと、菊池恵楓園の方たちの作品。それと南寫現館長につきました。人間にほれる、ということを実感したひと時でした。それ以来折に触れてのぞいていますが、今回満を持してのアティチュード展です。

アラキーの初期の傑作にして最高作『センチメンタルな旅』、夭折した阿部薫（日本のアイラー）そして、各地のハンセン病療養所入所者の作品群。プリミティブな表現に圧倒されてしまいます。

お時間を作っても、是非ご覧ください。

なお、土、日、祝の15:00—15:30学芸員の方によるギャラリートーク（解説）をやっています。持ち回りですが、南寫館長の日に解説を聞いてみることをお勧めします。

編集後記

季節はずれの台風4号、5号には驚かされました。幸い熊本市内にはそれほど被害は無かったけれど、我が息子の楽しみを奪ってしまいました。

実は夏休みに入って、家族全員で釣り船を借りて「魚釣り」をする予定でした。初めての釣り船での「魚釣り」を、何ヶ月も前から楽しみにしていたのに、前述の台風のせいで、中止になりました。それからことあるごとに「行きたかったなあ...」と言われるので、近い休みに連れて行ってやろうと思う今日この頃です。これも「家族愛」ですかねえ。

(Y. O)

熊本市歯科医師会会誌

第 138 号

発行日 平成19年9月15日発行
発行所 社団法人熊本市歯科医師会
熊本市坪井2丁目4番15号
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>
[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)
TEL (343) 6669
FAX (344) 9778

発 行 古 賀 明
責任者

印刷所 コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294